

第2号議案 2025 年間活動計画 (案)

☺子ども提案

	理事会 (事務局)	居場所 (基本毎週木曜日スタッフミーティング)	他団体との協力事業
		【WAM助成金事業による体験活動など】他	
4月	26 行政書士打ち合わせ 28 監査 (～7 春休み)	屋根付き遊び場完成 ガスオープン設置 ※F コープ助成事業	
5月	3 理事会 25 第18回通常総会	まるゐとであそぼう	
6月	8 学習会Ⅰ 「どうして学校行かなきゃいけないの？」と聞かれたら 九州大学准教授佐々木玲仁氏	楽器遊び たこ焼き作り	糸島市子ども支援団体連絡 会議
7月		体育館利用 職員研修 (20～夏休み)	
8月	17 学習会Ⅱ 「みんなの学校」上映会 大空小学校初代校長木村泰 子氏講演会	JA 女性部による料理教室※ ☺なつまつり 体育館利用 (～26 夏休み)	夏休み明け子どもの居場所 プロジェクト
9月	理事会	防災食を (作って) 食べよう! 体育館利用	糸島子どもの権利ミニフォー ーラム第1回 「社会的マルトリートメント」 について学ぶⅠ
10月		まるゐとであそぼう ☺ハロウィンパーティー (10～14 秋休み)	糸島子どもの権利ミニフォー ーラム第2回 「社会的マルトリートメント」 について学ぶⅡ
11月		MUKA であそぼう (乗馬体験 含) 楽器遊び	糸島子どもの権利ミニフォー ーラム第3回 「社会的マルトリートメント」に ついて学ぶ ワークショップ武田信子氏
12月		☺Xmas パーティー もちつき (25～冬休み)	
1月	理事会	まるゐとであそぼう 職員視察研修 (～7 冬休み)	

第2号議案 2025年度 事業計画(案)

(2025 年4月 1 日～2026年3月 31 日)

1 「こどもにやさしいまち いとしま」に向かって

昨年 4 月こども基本法制定、12 月にこども大綱が閣議決定され、こどもまんなか社会がやっと動き出しました。そのうごきに併せて糸島市は 2024 年 9 月議会で「糸島市こどもの権利条例」可決・成立し、9 月 30 日施行となりました。

「糸島市こどもの権利条例」は、国連の児童の権利に関する条約の 4 つの基本原則を踏まえつつ、糸島市独自の視点を加えて 5 つの柱で構成されています。

5 つの柱は①差別のない事 ②こどもにとっての最善の利益 ③命の保護と成長 ④意見表明と参加 ⑤休み及び自由に過ごすことができ豊かに育つ権利です。

さらに、「こどもの総合相談窓口」(第 16 条)が 4 月から設置されました。第 17 条には「こどもの権利救済委員会」の設置が謳われています。

条例制定に関わってきた当団体としては、これからも「こどもにとってやさしいまち いとしま」に向かうために活動していきます。

2 こども達が安心して過ごせる「みんなの居場所」事業をこれからもめざして

2023 年 12 月こども大綱が閣議決定され、「こども未来戦略マップ」に『こども・若者の安全・安心な居場所づくり』が謳われています。こども家庭庁は「こども・若者が地域コミュニティの中で育つ」ことが困難になっている現在の社会状況やこどもの権利が侵害される事態も生じていること、こうした喫緊の課題や個別のニーズにきめ細かに対応した居場所をつくることで、こどもの権利を守り、誰一人取り残さず、抜け落ちることのない支援を行う支援体制強化事業を打ち出しています。

当団体の「みんなの居場所」は、本当に居やすい居場所にしたいとスタッフ一同情報を共有し、この理念にそった居場所事業を展開していきます。

今年度も幸い、「九州労金」と「独立行政法人・福祉医療機構(WAM)」と、さらに「Fコープ」から助成金事業を採択して頂きました。この基金を活用させて頂き、さっそく事業展開が始まっている事業もありますが、今年度も別紙の活動を提案させて頂きます。年間計画(案)を参照してください。

3 こども達の成長を応援して

昨年度から、居場所の来所者が急激に増えてきました。保護者の相談も増え、スタッフの見守り活動も負担増となってきています。こども達の元気な声も日に日に大きくなって、近隣地域からの苦情もでてきましたが、こども達と話し合いながら、何とか日々過ごしています。

夏季の屋外活動に必須となった日除け対策に、「Fコープふくし助成金」を活用し、中庭に木造建築で屋根をはりました。木の温かみのある空間となり、雨の日でも活動できるようになりました。

更に、増加する利用者に対応するためガスオーブンも同助成金で購入し、一度に大量調理が可能となりました。また、こどもの中には、お菓子作りが出来ると喜んでいきます。

こども達一人ひとりの社会的自立をめざしてサポートしたいと考えております。

4他団体との交流・連携について

こども達の「居場所」が糸島市内に様々あることで多様な学びや体験活動ができます。地域社会の中で生きていくためには、多くの方々との触れ合いは大切です。こども達は 2024 年度も沢山の団体や地域の方々とのふれあい・交流があり、そのことによる沢山の学びがありました。これからもこども達の声を聞きながら体験活動を進めていきます。